

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山梨県

行事名称	武田八幡宮消防訓練(文化防火デー)
実施期間・日時	令和2年1月26日(日)9:00~11:00
実施場所	武田八幡宮境内(韮崎市神山町北宮地 1185)、願成寺境内(韮崎市神山町鍋山 1111)
主催者	武田八幡宮、願成寺、韮崎消防署、韮崎市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

国重要文化財「武田八幡神社本殿」及び願成寺境内にて出火

訓練の内容

- ・ポンプ自動車と可搬ポンプによる中継消火訓練
- ・消火栓による消火訓練

参加者及び役割分担

訓練統括・講評

韮崎消防署

消火訓練

神山町消防団

訓練立会

武田八幡宮氏子(武田八幡宮のみ)、願成寺住職・檀家(願成寺のみ)、韮崎市教育委員会

防災設備点検

韮崎消防署、韮崎市教育委員会、武田八幡宮氏子(武田八幡宮のみ)、願成寺住職(願成寺のみ)

特に工夫した点

- ・昨年ノートルダム大聖堂及び首里城の火災もあり、韮崎消防署から出火による影響や今後の対策等これまで以上に詳細な指導があった。
- ・地元も昨年以上に多くの住民に訓練の参加を呼びかけ、地域で文化財を守る意識を高めた。

問題点・課題

- ・武田八幡宮境内外の防水舎から神社まで距離があり、道も傾斜しているためより迅速な対応が求められる。
- ・願成寺境内の防水ホースの放水量が弱いことから、ホースの径を変えて圧力を高める方法や防火水槽の設置等の指導を消防署から受け、今後検討する必要がある。

その他

武田八幡宮では、これまで不良の指摘を受けていた、境内の防災設備を修理している。

訓練風景



消火訓練(武田八幡宮境内)



消火訓練(願成寺境内)